

主要施策名:(3)住環境の整備・充実

事務事業本数:13

基本目標(章)	主要施策(節)	施策区分	事務事業コード	事務事業	所管課
④便利で快適な都市づくり	(3)住環境の整備・充実	(1)移住・定住の推進	431-1	定住促進事業	地域振興課
		(4)公園・緑地の整備	434-1	農業公園管理事業	農地整備課
		(1)移住・定住の推進	431-2	都市再生特別措置法に基づく事務事業	都市整備課
		(2)新玉名駅周辺の整備	432-1	新玉名駅周辺整備事業	都市整備課
			432-2	新玉名駅駐車場管理事業	都市整備課
		(4)公園・緑地の整備	434-3	公園管理事業	都市整備課
		(5)「花の都 玉名」づくりの推進	435-1	花の都づくり推進事業	都市整備課
		(4)公園・緑地の整備	434-4	公園管理事業(都市公園以外)	都市整備課
		(3)公営住宅の整備	433-1	市営住宅運營業務	営繕課
			433-2	市営住宅施設管理業務	営繕課
			430-2	ユニバーサルデザイン建築物整備事業	営繕課
		(3)公営住宅の整備	433-4	公営住宅ストック総合改善事業	営繕課
			430-3	戸建木造住宅耐震対策支援事業	営繕課

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	定住促進事業	所管課 【2】	地域振興課	
		作成者(担当者)	小柳 ミチル	
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	④便利で快適な都市づくり		重点 施策 【4】
	主要施策(節)	(3)住環境の整備・充実		
	施策区分	(1)移住・定住の推進		
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	■ 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 0 千円】 ■ 法令、県・市条例等【 空き家バンク制度実施要綱、おためし暮らし事業実施要綱、定住促進補助事業実施要綱 】 ■ その他の計画【 第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	■ ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事业 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務			
会計区分 【7】	■ 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 〕 款 2 項 1 目 8 細目 7			

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	「人と自然がひびきあう県北の都 玉名」の将来像のもと、まちづくりに取り組んでいるが、少子化や社会減などにより、人口の減少が続いているため、地域の活力の源である“定住人口の増加”を図る必要がある。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	市民及び市外在住の移住希望者
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	「住んでよかった」「住み続けたい」といわれるような魅力的で住みやすい環境づくりに取組み、市外から玉名市に移り住む人を増やすなどし、地域の活性化を図る。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H18 年度から】 【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】
事務事業の具体的内容 【14】	<p>・定住促進補助事業(住宅取得補助金、住宅リフォーム補助金、新幹線通勤定期券購入補助金)に関する事務 ・東京、大阪及び福岡で開催される定住フェア等に相談ブースを出展し、移住希望者と直接対話を通じて玉名暮らしをPR ・空き家バンクの運営に関する事務 ・定住に結び付けるため、利用施設に一定期間滞在させることで地域での生活体験を行うことができる「おためし暮らし」の運営に関する事務</p> <p>・田舎暮らし志向の市外在住者に情報提供を行う定住希望者登録に関する事務 ・若者(高校生以上～40歳未満)を募集し、まちづくりワークショップ等を開催する ・関係人口創出を目的に、玉名市応援団として登録していただいた方に本市の多様な情報提供を行なう。</p>
	【15】 事務事業を構成する細事業(13)本 ⇒ ① 第2次定住促進補助事業 ② 定住相談会参加事業 ③ 空き家バンク事業

《事務事業実施に係るコスト》

		H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算	全体計画
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0
		県支出金	728	347	99	4,433
		起債	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0
		その他	217	40	0	2,553
		一般財源	48,544	48,765	47,176	56,103
		【16】 小 計	49,489	49,152	47,275	63,089
		[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	0	0		
	職人 員 件 費	職員人工数	1.05	1.05	1.30	0.85
		職員の年間平均給与額(千円)	5,896	5,476	5,476	5,497
		会計年度任用職員人工数			0.00	0.00
		会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)			1,950	1,973
【17】 小 計		6,191	5,750	7,119	4,672	
合 計		55,680	54,902	54,394	67,761	

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H30実績	R01実績	R02実績	R03計画
① 第2次定住促進補助事業	定住促進補助制度を活用した定住の促進	活用件数	件	41	48	56	15
② 定住相談会参加事業	ふるさと回帰フェア等への参加による定住の促進	相談件数	件	6	15	8	15
③ 空き家バンク事業	空き家バンク事業を活用した定住の促進	新規登録件数	件	4	3	1	5

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算
	対象(定住者数(定住促進補助金の活用による転入者数))	142	141	190
投入コスト合計(千円)	55,680	54,902	54,394	67,761
対象1単位あたりのコスト(千円)	392	389	286	452
コスト評価(対前年比)	***	100.70% (↑)	136.01% (↑)	63.37% (↓)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H30目標	R01目標	R02目標	R03目標
			H30実績	R01実績	R02実績	
1 定住者数	定住促進補助金の活用による転入者数	人	150	150	150	150
2			142	141	190	

* 成果未達成時の理由

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
効率性 【22】	<input checked="" type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
公平性	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由() 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	定住相談会参加事業については、今年度は新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、オンラインセミナーに変更。 都市部における玉名市の認知度を高めるため、定住相談会を開催していたが効果的とは言えず、関係人口などの事業に力を入れることとした。 第2次住宅補助事業について、今年度で事業が終了することに伴い、事業内容を検討。第3次住宅補助事業を実施することし、住宅取得補助金については補助額を下げ、空き家取得補助金については、空き家活用を促進させる目的で市内外の者も利用できることに変更した。			
今後の方向性 【26】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定	B	
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	令和3年度登録物件数を増加させるためには空き家の掘り起こしが効果的だと考えており、地域おこし協力隊を投入すべく募集中であったが、令和3年5月から採用予定で、今後は協議することとする。 空き家バンクの空き家の掘り起こしについては、空き家バンクを含めた遊休地の利活用事業を定住自立圏の構成市町共同で取り組めないか検討している。			
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	定住促進施策1期(H23～H27年度)分が終了。2期(H28～R2年度)分の終了はR7年度まで。3期(R3～R5年度)分は、制度を改定し、単年度で事務事業が終了することとした。移住定住施策は、本来、補助金制度に頼ることなく、子育て、教育、医療などの本市独自の施策・魅力を移住希望者に訴求し、魅力をアピールしていきたい。空き家バンク制度については、民間事業者等との協議も含め、今後増え続ける空き家対策の観点からも早めの協議・空き家バンク事業の見直しが必要と考える。	評価責任者 吉田 勇人
----------------------	---	----------------

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	農業公園管理事業		所管課 【2】	農地整備課							
			作成者(担当者)	川口 元貴							
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	④便利で快適な都市づくり				重点 施策 【4】					
	主要施策(節)	(3)住環境の整備・充実									
	施策区分	(4)公園・緑地の整備									
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 玉名市農村公園条例 <input type="checkbox"/> その他の計画【		年度予定	:	金額	0 千円】					
事業区分 【6】	<input type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input checked="" type="checkbox"/> 施設の維持管理事業										
	<input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務										
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【		】	款	6	項	1	目	14	細目	17

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	農村における憩いの場として設置された農村公園の維持管理を行っていく必要がある。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	農村公園利用者
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	農村公園の利用者が憩いの場として、常に快適に利用できるようにする。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【
事務事業の具体的内容 【14】	市内12箇所ある農村公園の清掃、剪定、除草等を行う。
	⇒
	【15】 事務事業を構成する細事業(1)本
	① 農業公園管理事業
	②
	③

《事務事業実施に係るコスト》

		H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算	全体計画
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0
		その他	0	24	24	24
		一般財源	1,093	1,215	932	968
	【16】 小計	1,093	1,239	956	992	
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)		0	0		
	職人 員 の 費	職員人工数	0.10	0.15	0.10	0.10
		職員の年間平均給与額(千円)	5,896	5,476	5,476	5,497
		会計年度任用職員人工数			0.00	0.00
		会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)			1,950	1,973
		【17】 小計	590	821	548	550
	合計		1,683	2,060	1,504	1,542

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H30実績	R01実績	R02実績	R03計画
① 農業公園管理事業	公園の除草等維持管理の委託を行う。	委託件数	件	3	3	3	3
②							
③							

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算
対象(市民)	66850	66319	65817	65189
投入コスト合計(千円)	1,683	2,060	1,504	1,542
対象1単位あたりのコスト(千円)	0	0	0	0
コスト評価(対前年比)	***	81.07% (↓)	135.93% (↑)	96.62% (↓)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H30目標	R01目標	R02目標	R03目標
			H30実績	R01実績	R02実績	
1 苦情件数	農村公園における利用者からの苦情件数	件	0	0	0	0
2			0	0	0	
* 成果未達成時の理由						

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input checked="" type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(公園維持管理のため) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	施設の老朽化が進んでいるが、延命措置を地元で施工してもらうことで、比較的安価に施設修繕できた。		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定	B
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	施設老朽化に伴う維持管理費の増大が懸念されており、安全性に配慮しつつ優先順位をつけて整備を進める。		
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	農村における憩いの場として市内12箇所の農村公園の全ての施設が合併前に設置されており、施設の老朽化が目立っている。維持管理は地元で行って頂いているが、修繕や改修工事等、安全性に配慮しながら計画的に整備を進める必要があり、市単独予算では限界があるため、補助事業を活用したいが、現時点では該当する事業がなく、今後の新規事業に期待したい。	評価責任者 小山 恭徳
-------------------	--	----------------

事務事業コード 431-2

実施 令和03年度(令和02年度実績)

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称【1】	都市再生特別措置法に基づく事務事業		所管課【2】	都市整備課			
			作成者(担当者)	廣川幸喜			
総合計画での位置付け【3】	基本目標(章)	④便利で快適な都市づくり				重点施策【4】	
	主要施策(節)	(3)住環境の整備・充実					
	施策区分	(1)移住・定住の推進				■ 該当	
実施の根拠(複数回答可)【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 0千円】						
	■ 法令、県・市条例等【 都市再生特別措置法第81条 】						
	■ その他の計画【 玉名市都市計画マスタープラン 】 <input type="checkbox"/> 該当なし						
事業区分【6】	<input type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業						
	<input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input checked="" type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務						
会計区分【7】	■ 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 】【 款 8 項 5 目 1 細目 1						

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか)【8】	玉名市は平成12年をピークに人口が減少しており、今後も人口減少が進行すると一定の人口密度に支えられてきた医療・福祉・子育て支援・商業等の生活サービスの提供が将来困難になりかねない状況にある。国において平成26年8月に改正都市再生特別措置法が施行され、今後見込まれる人口減少や少子高齢化を背景としたネットワーク型コンパクトシティの実現のため都市全体の構造を見直し、コンパクトなまちづくりとこれと連携した公共交通ネットワークを形成することが急務である。
対象(誰、何に対して、受益者等)【9】	行政、住民
意図(どのような状態にしたいか)【10】	高齢者や子育て世代にとって、安心できる健康で快適な生活環境を実現すること、財政面及び財政面において持続可能な都市経営を可能にすること

《事務事業の概要》

事業期間【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度	
	【 年度 】 【 年度から 】 【 R1 年度～ R3 年度まで】	
事業主体【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】【	
実施方法【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】【	
事務事業の具体的内容【14】	○立地適正化計画の策定(集約都市形成支援事業 国庫補助1/2) 令和元年度 上位・関連計画の整理、現状の把握・整理、将来分析、課題整理、立地適正化計画の基本的な針、誘導区域設定の考え方の整理等 令和2年度 誘導区域の設定、誘導施設の設定、誘導瀬策の設定、計画検討に対する合意形成(庁内検討会 議)等 令和3年度 目標値の設定、計画検討に対する合意形成(庁内検討会議、住民説明会、パブリックコメント、都市計画審議会)等	【15】 事務事業を構成する細事業(1)本 ① 立地適正化計画策定事業 ② ③

《事務事業実施に係るコスト》

		H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費(千円)	国庫支出金	0	2,862	3,379	4,428	10,669
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	3,078	3,391	4,467	10,936
		【16】 小 計	0	5,940	6,770	8,895	21,605
		[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	0	0			
	職員人件費	職員人工数	0.00	1.00	1.45	1.45	
		職員の年間平均給与額(千円)	5,896	5,476	5,476	5,497	
		会計年度任用職員人工数			0.00	0.00	
		会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)			1,950	1,973	
		【17】 小 計	0	5,476	7,940	7,971	
		合 計	0	11,416	14,710	16,866	

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H30実績	R01実績	R02実績	R03計画
① 立地適正化計画策定事業	立地適正化計画の策定・公表	庁内会議等の開催	回		0	2	2
②							
③							

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算
対象(玉名市民)	0	65817	65189	65189
投入コスト合計(千円)	0	11,416	14,710	16,866
対象1単位あたりのコスト(千円)	0	0	0	0
コスト評価(対前年比)	***	0.00% (一)	76.87% (↓)	87.22% (↓)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H30目標	R01目標	R02目標	R03目標
			H30実績	R01実績	R02実績	
1						
2						
* 成果未達成時の理由						

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 【23】	<input type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる <input type="checkbox"/> ・負担率【 0.00 %】 <input type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input type="checkbox"/> ・設定できない理由() 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	誘導区域の設定、誘導施設の設定、誘導瀬策の設定、庁内検討会議を予定どおり完了した。			
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定 B
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	令和3年度にて目標値の設定、防災指針の策定、庁内検討会議、パブリックコメント、都市計画審議会を実施し、計画書のとりまとめを行う。併せて、新たな誘導施設の検討も実施する。			
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input checked="" type="checkbox"/> ・減額 (細事業名) 都市再生特別措置法に基づく事務事業			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	立地適正化計画策定最終年度のため現状のまま継続し完成をめざす。	評価責任者 中尾賢治
-------------------	---------------------------------	---------------

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H30実績	R01実績	R02実績	R03計画
① 新玉名駅周辺インフラ整備業務	道路、用排水路、上下水道等インフラ整備を実施する。	工事件数	箇所	***	***	1	1
② 新玉名駅周辺整備関連事業	整備推進のために、庁内会議を開催する。	検討会議開催回数	回	5	5	13	20
③ 新玉名駅周辺整備事業合意形成支援業務	整備区域内優先範囲の整備方針を決定する。	地権者説明会、勉強会開催回数	回	***	***	2	3

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算
対象(全市民)	66850	65817	65189	65189
投入コスト合計(千円)	15,191	25,664	28,005	100,346
対象1単位あたりのコスト(千円)	0	0	0	2
コスト評価(対前年比)	***	58.28% (↓)	90.77% (↓)	27.91% (↓)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H30目標	R01目標	R02目標	R03目標
			H30実績	R01実績	R02実績	R03実績
1 誘導企業数	整備区域内に新たに立地した企業数	企業	***	1	1	1
2 民間開発事業者の農振除外申請手続開始件数	民間開発の初期法的手続	事業者	***	0	0	1
* 成果未達成時の理由			整備を促進するため、整備方針の策定、都市計画上の整理、文化財予備調査を実施し、複数事業者と進出に関する具体的協議を行った。ただ、新型コロナウイルスにより企業の進出意欲が弱く、目標を達成することができなかった。			

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
効率性 【22】	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input checked="" type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input checked="" type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
公平性	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる <input type="checkbox"/> ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(事業の性格上難しい) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	整備促進のため、令和2年8月に「新玉名駅周辺整備方針」を策定。R3にて整備手法の決定を行う。また新たな施策として、「新玉名駅周辺商業施設等立地促進奨励金」を策定。R3.4.1より実施する。		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定	B
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	新玉名駅周辺整備を促進するため、インフラ整備の実施、整備方針優先的整備区域の事業手法の決定、都市計画上の整理、整備区域文化財予備調査の実施を行う。また、進出希望事業者との具体的協議も引き続き行っていく。		
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input checked="" type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) 新玉名駅周辺整備事業 <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	新玉名駅周辺整備の促進のため一部先行して整備を行う。併せて地権者との調整を図り合意形成を行うため、現状のまま継続。	評価責任者 中尾 賢治
----------------------	---	----------------

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称【1】	新玉名駅駐車場管理事業	所管課【2】	都市整備課
		作成者(担当者)	森田文子
総合計画での位置付け【3】	基本目標(章)	④便利で快適な都市づくり	
	主要施策(節)	(3)住環境の整備・充実	
	施策区分	(2)新玉名駅周辺の整備	
実施の根拠(複数回答可)【5】	<input checked="" type="checkbox"/> 市長公約	<input type="checkbox"/> 新市建設計画【	年度予定 : 金額 0 千円】
	<input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【	駐車場法	】
	<input type="checkbox"/> その他の計画【		】 <input type="checkbox"/> 該当なし
事業区分【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業	<input type="checkbox"/> 義務的事业	<input type="checkbox"/> 建設・整備事業
	<input type="checkbox"/> 内部管理事務	<input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務	<input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業
会計区分【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計	<input type="checkbox"/> 特別・企業会計【	】 款 8 項 5 目 1 細目 10

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか)【8】	新玉名駅前駐車場の混雑解消等、利用者の利便性の向上
対象(誰、何に対して、受益者等)【9】	新玉名駅利用者
意図(どのような状態にしたいか)【10】	新玉名駅駐車場を指定管理者制度を活用して適正に維持、管理する。

《事務事業の概要》

事業期間【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度
	【 年度】	【 2021 年度から】	【 年度～ 年度まで】
事業主体【12】	<input type="checkbox"/> 国	<input type="checkbox"/> 県	<input checked="" type="checkbox"/> 市
	<input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【		
実施方法【13】	<input type="checkbox"/> 直営	<input type="checkbox"/> 全部委託・請負	<input checked="" type="checkbox"/> 一部委託・請負
	<input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【		
事務事業の具体的内容【14】	新玉名駅前駐車場含めた駅前広場の電気代、指定管理者管轄外における新玉名駅周辺維持管理費用(修繕料)	⇒	【15】 事務事業を構成する細事業(1)本
			① 新玉名駅駐車場管理事業
			②
			③

《事務事業実施に係るコスト》

		H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算	全体計画
投入コスト	事業費(千円)	国庫支出金	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	10,606	395
		その他	0	0	0	0
		一般財源	0	3,702	1,965	3,019
		【16】 小計	0	3,702	12,571	3,414
		[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	0	0		
	職人件費	職員人工数	0.00	0.00	0.00	0.10
		職員の年間平均給与額(千円)	5,896	5,476	5,476	5,497
		会計年度任用職員人工数			0.00	0.00
		会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)			1,950	1,973
		【17】 小計	0	0	0	550
		合計	0	3,702	12,571	3,964

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H30実績	R01実績	R02実績	R03計画
① 新玉名駅駐車場管理事業	新玉名駅駐車場利用車両の適正管理	新玉名駅駐車場在庫数(1日平均)	台		372	206	280
②							
③							

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算
	対象(1日平均車両在庫数)	0	372	206
投入コスト合計(千円)	0	3,702	12,571	3,964
対象1単位あたりのコスト(千円)	0	10	61	14
コスト評価(対前年比)	***	0.00%	(-)	16.31% (↓) 431.05% (↑)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H30目標	R01目標	R02目標	R03目標
			H30実績	R01実績	R02実績	
1 新玉名駅駐車場在庫台数	一般利用と定期利用を合わせた駐車場在庫台数	台		—	—	280
2				372	206	
* 成果未達成時の理由						

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/>	・市が実施するよう法令等で義務づけられている	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令等で義務づけられていないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす	
効率性 【22】	<input type="checkbox"/>	・市が事業へ関与する必要が薄れている	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている	
有効性 【23】	<input type="checkbox"/>	・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	
公平性	<input type="checkbox"/>	・事業開始当初の目的から変化してきている	b
	<input checked="" type="checkbox"/>	・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	
公平性	<input type="checkbox"/>	・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	
公平性	<input type="checkbox"/>	・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある	
公平性	<input type="checkbox"/>	・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	b
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	
公平性	<input type="checkbox"/>	・成果指標を設定している	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の目標値を達成した	
公平性	<input type="checkbox"/>	・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない	b
	<input checked="" type="checkbox"/>	・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる	
公平性	<input type="checkbox"/>	・法定事務であり成果は求めにくい	b
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している	
公平性	<input type="checkbox"/>	・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している	b
	<input checked="" type="checkbox"/>	・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	
公平性	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担がある ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる	・負担率【 84.37 %】
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input type="checkbox"/> ・設定できない理由()	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	令和2年度には障がい者用カーポートの設置等、利用者の利便性向上に寄与する取り組みを行った。		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続	<input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定 B
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	指定管理業者管轄外の区域における施設の老朽化等に迅速に対応するため、令和3年度より修繕料を予算計上している。		
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名)	<input checked="" type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)	新玉名駅駐車場管理事業

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	コロナ禍の中旅行客が減り売り上げが落ちてしまったが、次期指定管理業務委託に向けさらなる利便性の向上に向け現状のまま継続とする	評価責任者 中尾賢治
----------------------	--	---------------

事務ふりかえりシート

《基本情報》

Table with 7 rows and multiple columns. Row 1: 事務事業の名称 [1] 公園管理事業, 所管課 [2] 都市整備課, 作成者(担当者) 西依 弘展. Row 2: 総合計画での位置付け [3], 基本目標(章) ④便利で快適な都市づくり, 主要施策(節) (3)住環境の整備・充実, 施策区分 (4)公園・緑地の整備, 重点施策 [4] □ 該当. Row 3: 実施の根拠 (複数回答可) [5], 市長公約, 新市建設計画, 法令・県・市条例等 [玉名市都市公園条例(都市公園法)], その他の計画, 年度予定 : 金額 0 千円, □ 該当なし. Row 4: 事業区分 [6], ソフト事業, 内部的な事業, 建設・整備事業, 施設の維持管理事業, 内部管理事務, 計画等の策定及び進捗管理事務. Row 5: 会計区分 [7], 一般会計, 特別・企業会計, 款 8 項 5 目 6 細目 1.

《事務事業の目的》

Table with 3 rows. Row 1: 事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) [8], 都市における生活環境を向上させ、スポーツ、文化活動等多様なレクリエーション需要の充足に資するとともに、災害時の避難場所、延焼防止など緑豊かで安全快適な都市環境を創造することを目的として整備した都市公園の維持管理を行う必要がある。 Row 2: 対象 (誰、何に対して、受益者等) [9], 都市公園利用者. Row 3: 意図 (どのような状態にしたいか) [10], 憩いの場として常に快適に利用できるようにする。

《事務事業の概要》

Table with 4 rows. Row 1: 事業期間 [11], 単年度のみ, 単年度繰返し, 期間限定複数年度, 年度, H17 年度から, 年度～ 年度まで. Row 2: 事業主体 [12], 国, 県, 市, 民間, その他. Row 3: 実施方法 [13], 直営, 全部委託・請負, 一部委託・請負, 補助金等交付, その他. Row 4: 事務事業の具体的内容 [14], 都市公園の維持管理を目的に下記の公園の清掃及び除草等の業務を行う。 (List of tasks), [15] 事務事業を構成する細事業(8)本, ① 都市公園管理業務, ② 裏川水際緑地花菖蒲管理業務委託, ③ 古閑近隣公園等緑地維持管理業務.

《事務事業実施に係るコスト》

Table with 7 columns: H30年度決算, R01年度決算, R02年度決算, R03年度予算, 全体計画. Rows include: 事業費 (千円) (国庫支出金, 県支出金, 起債, 受益者負担, その他, 一般財源, [16] 小計), 職人員件費 (職員人工数, 職員の年間平均給与額(千円), 会計年度任用職員人工数, 会計年度任用職員の年間平均給与額(千円), [17] 小計), 合計.

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H30実績	R01実績	R02実績	R03計画
① 都市公園管理業務	委託して清掃、除草、維持管理を行う。(シルバー、自治区等)	管理委託件数	件	31	33	34	33
② 裏川水際緑地花菖蒲管理業務委託	委託して株分・維持管理を行う。(請負業者)	管理委託件数	件	2	2	2	2
③ 古閑近隣公園等緑地維持管理業務	委託して除草・低木剪定・消毒等の維持管理を行う。(請負業者)	管理委託件数	件	1	1	1	1

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算
	対象(管理対象公園数(都市公園等))	59	59	59
投入コスト合計(千円)	46,727	68,371	94,052	72,573
対象1単位あたりのコスト(千円)	792	1,159	1,594	1,230
コスト評価(対前年比)	***	68.34% (↓)	72.69% (↓)	129.60% (↑)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H30目標	R01目標	R02目標	R03目標
			H30実績	R01実績	R02実績	
1 苦情の対応率	都市公園等における苦情の対応率	%	100	100	100	100
2			100	100	100	
* 成果未達成時の理由						

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/>	・市が実施するよう法令等で義務づけられている	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす	
効率性 【22】	<input type="checkbox"/>	・市が事業へ関与する必要が薄れている	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている	
有効性 【23】	<input type="checkbox"/>	・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	
公平性	<input type="checkbox"/>	・事業開始当初の目的から変化してきている	b
	<input checked="" type="checkbox"/>	・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	
妥当性	<input type="checkbox"/>	・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	
効率性	<input type="checkbox"/>	・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある	
有効性	<input type="checkbox"/>	・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	b
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	
公平性	<input type="checkbox"/>	・成果指標を設定している	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の目標値を達成した	
妥当性	<input type="checkbox"/>	・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない	b
	<input checked="" type="checkbox"/>	・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる	
効率性	<input type="checkbox"/>	・法定事務であり成果は求めにくい	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している	
有効性	<input type="checkbox"/>	・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している	b
	<input checked="" type="checkbox"/>	・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	
公平性	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担がある ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる	負担率【 0.04 %】
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input type="checkbox"/> ・設定できない理由()	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	施設改善の要望に対しては必要性を検証し、可能な限り優先順位をつけて、適切な施設整備に努めた。		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続	<input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定 B
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	老朽化等により利用者に危険を生じる施設、耐用年数を経過する施設を優先して設備の更新を図る。		
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名)		
	<input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	公園は市民にとって憩いの場であると同時に、コロナ禍においては運動できる場として利用が多くなっている。今後も引き続き維持管理を適切に行い、安心安全に利用してもらえるよう施設の維持管理に努める。	評価責任者 中尾 賢治
----------------------	---	----------------

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	花の都づくり推進事業		所管課 【2】	都市整備課
			作成者(担当者)	西依 弘展
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	④便利で快適な都市づくり		
	主要施策(節)	(3)住環境の整備・充実		
	施策区分	(5)「花の都 玉名」づくりの推進		
重点施策 【4】				
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 0千円】 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 玉名市花の拠点づくり事業材料等支給要綱 】 <input type="checkbox"/> その他の計画【 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事业 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 】 款 8 項 5 目 6 細目 2			

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	花と緑があふれるまちづくりを目指すために、市内小学校や玉名21の星事業、ボランティア団体・各種団体による「花の都玉名」づくりを推進し、これを継承していく人材の育成を支援する必要がある。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	市民、来訪者
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	花の植栽により、地域住民や玉名を訪れる人々に安らぎのある景観を提供し、玉名市のイメージアップを目指す。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】		
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】		
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】		
事務事業の具体的内容 【14】	花の拠点づくりを行うことによって、地域が花でいっぱいになるよう事業を行っている。花づくりを行う団体に対し、材料等(種、肥料、土、その他材料及び資材)の支給や、支援を行う。 ・花づくり団体及び学校による花づくり拠点の維持。 ・公共施設及び自治会等への花苗配布	⇒	【15】 事務事業を構成する細事業(2)本 ① 花の拠点づくり事業 ② 花の都づくり推進事業 ③

《事務事業実施に係るコスト》

投入コスト		H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算	全体計画
		事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0
	受益者負担	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	9,375	9,672	8,993	9,528	0
	【16】 小 計	9,375	9,672	8,993	9,528	0
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	0	0			
職人 人員 の 費	職員人工数	0.50	0.50	0.60	0.60	
	職員の年間平均給与額(千円)	5,896	5,476	5,476	5,497	
	会計年度任用職員人工数			0.00	0.00	
	会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)			1,950	1,973	
	【17】 小 計	2,948	2,738	3,286	3,298	
合 計		12,323	12,410	12,279	12,826	

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H30実績	R01実績	R02実績	R03計画
① 花の拠点づくり事業	肥料及び種子の助成。	支給団体数	団体	9	8	7	8
② 花の都づくり推進事業	シルバー委託により花苗を育苗する。	育苗した花苗数	本	67195	61027	57273	60000
③							

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算	
	対象(花壇個所数(植栽・花苗配布・拠点花壇等))	176	165	168	169
	投入コスト合計(千円)	12,323	12,410	12,279	12,826
	対象1単位あたりのコスト(千円)	70	75	73	76
コスト評価(対前年比)	***	93.09% (↓)	102.90% (↑)	96.31% (↓)	

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H30目標	R01目標	R02目標	R03目標
			H30実績	R01実績	R02実績	
1 植込み箇所	地域で植込みを行った花壇数(拠点花壇数)	箇所	45	45	43	43
2 花苗配布箇所	花苗を施設および団体に配布、植栽した箇所数(シルバー委託)	箇所	69	72	70	76
* 成果未達成時の理由			地域で植込みを行った花壇数について、1団体の申請辞退により1ヶ所減少。			

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input checked="" type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い a
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(市推進事業のため) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	花づくりを定着させ、「花の都玉名」づくりをコンセプトに花苗の生産と配布、公園への植栽管理を継続して行った。			
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定 A
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	花づくりを定着させ、「花の都玉名」づくりを進める核となる「花の拠点団体」について、直近2年間で2団体減少している。今後、広報誌等で啓発を行い、新規団体の募集に努める。			
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名)			
	<input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	花の都玉名づくりは総合計画にも記載されている。花壇でSNS発信用の写真も撮られている。拠点の花壇が認知されている状況。拠点団体は減っているものの希望されている苗数を配布できていない状況なので、現状のまま継続だが、育苗方法の見直しも必要。	評価責任者 中尾 賢治
-------------------	--	----------------

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	公園管理事業(都市公園以外)	所管課【2】	都市整備課				
		作成者(担当者)	西依 弘展				
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	④便利で快適な都市づくり					重点 施策【4】
	主要施策(節)	(3)住環境の整備・充実					
	施策区分	(4)公園・緑地の整備					
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【		年度予定	:	金額	0千円】	
	<input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 玉名市公園条例					】	
	<input type="checkbox"/> その他の計画【					】 <input type="checkbox"/> 該当なし	
事業区分 【6】	<input type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事业 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input checked="" type="checkbox"/> 施設の維持管理事業						
	<input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務						
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【					】 款 8 項 5 目 6 細目 5	

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	公園を利用する方が快適に安心・安全に利用できるよう、公園のトイレ等施設の維持管理や修繕を行う必要がある。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	公園利用者
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	公園を利用する方が快適に安心・安全に利用できるように維持管理を行う。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度				
	【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】				
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】				
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】				
事務事業の具体的内容 【14】	公園利用者の安心・安全を目的として、公園のトイレ等施設の維持管理や修繕を行う。	⇒	【15】 事務事業を構成する細事業(1)本		
			①	都市公園以外公園管理事業	
			②		
			③		

《事務事業実施に係るコスト》

		H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	21,600	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	17,942	6,962	8,282	10,074	0
		【16】 小 計	39,542	6,962	8,282	10,074	0
		[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	0	0			
	職人 員 の 費	職員人工数	0.50	0.60	0.80	0.90	
		職員の年間平均給与額(千円)	5,896	5,476	5,476	5,497	
		会計年度任用職員人工数			0.00	0.00	
		会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)			1,950	1,973	
		【17】 小 計	2,948	3,286	4,381	4,947	
	合 計		42,490	10,248	12,663	15,021	

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H30実績	R01実績	R02実績	R03計画
① 都市公園以外公園管理事業	公園の除草、清掃等の維持管理委託、及び修繕を行う。	委託、修繕件数	件	11	8	12	10
②	駐車場の舗装工事を行う。	舗装面積	m ²	430	***	***	***
③	展望所を整備する	整備面積	m ²	50	***	***	***

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算
	対象(管理対象公園数(都市公園外))	11	11	11
投入コスト合計(千円)	42,490	10,248	12,663	15,021
対象1単位あたりのコスト(千円)	3,863	932	1,151	1,366
コスト評価(対前年比)	***	414.62% (↑)	80.93% (↓)	84.30% (↓)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H30目標	R01目標	R02目標	R03目標
			H30実績	R01実績	R02実績	
1 公園除草回数(横島地区5公園、天水地区3公園)	委託により除草、剪定等を行った回数	回	42	25	25	21
2 苦情件数	都市公園以外の公園における苦情件数	件	0	0	0	0

* 成果未達成時の理由 天候不良により作業日程が取れず、回数が減少した。

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input checked="" type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
効率性 【22】	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input checked="" type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
公平性	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる <input type="checkbox"/> ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(公園管理のため) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	利用者が安全、安心に利用できるよう、適切な維持管理に努めた。			
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定 B
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	今後も、利用者が安全、安心に利用できるよう、適切な維持管理に努める。			
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	今後も適切な維持管理を行い、安心安全に利用できるよう維持管理を行い現状のまま継続することは必要だが、コロナ禍において新たな利用が可能であるなら、都市公園以外で試験的に運用を考えてもいいのではないか。	評価責任者 中尾 賢治
-------------------	---	----------------

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	市営住宅運営業務		所管課 【2】	営繕課
			作成者(担当者)	徳永 信貴
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	④便利で快適な都市づくり		
	主要施策(節)	(3)住環境の整備・充実		
	施策区分	(3)公営住宅の整備		
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【		年度予定	金額
	■ 法令、県・市条例等【			0 千円】
	■ その他の計画【		玉名市公共施設長期整備計画	
事業区分 【6】	■ ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業			
	<input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務			
会計区分 【7】	■ 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【		】	款 8 項 6 目 1 細目 2

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	住宅に困窮する低所得者層へ住宅の供給をするにあたり、入居を希望する際の公平性・透明性の確保や、入居者が安心して生活を送るための適正な管理運営が求められている。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	住宅に困窮する低所得者及び市営住宅入居者・退去者
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	公平かつ厳正な審査のもと住宅を斡旋するとともに、入居者が規則や規律を遵守することで秩序ある生活環境が保たれるよう適正な入居管理を図る。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度
	【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【
実施方法 【13】	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【
事務事業の具体的内容 【14】	<ul style="list-style-type: none"> ・新規募集による住宅の斡旋を行う。 ・異動等の手続において適正な入居者管理を行う。 ・収入申告に基づき適正な家賃算定を行う。 ・市営住宅の入居者から住宅使用料を徴収する。 ・滞納者に対し督促状・催告状の発送及び訪問指導等により納付促進を図るとともに、納付に応じない滞納者に対しては明渡訴訟も含めた対応を行う。
	【15】 事務事業を構成する細事業(10)本 ⇒ ① 入退去業務 ② 住民異動等窓口業務 ③ 家賃算定業務

《事務事業実施に係るコスト》

		H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算	全体計画
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0
		受益者負担	3,723	3,016	1,878	1,752
		その他	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	1,794
		【16】 小 計	3,723	3,016	1,878	3,546
		[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	0	0		
	職人 員 の 費	職員人工数	1.65	1.65	1.50	1.50
		職員の年間平均給与額(千円)	5,896	5,476	5,476	5,497
会計年度任用職員人工数				0.00	0.00	
会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)				1,950	1,973	
	【17】 小 計	9,728	9,035	8,214	8,246	
合 計		13,451	12,051	10,092	11,792	

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H30実績	R01実績	R02実績	R03計画
① 入退去業務	入居者の募集・案内、退去時の敷金精算。	入居数及び退去数	件	88	112	111	111
② 住民異動等窓口業務	出生、死亡、転出、収入の変更等の異動手続き。	異動処理件数	件	128	108	72	72
③ 家賃算定業務	収入申告にもとづく住宅使用料の算定。	家賃算定件数	件	987	961	931	931

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算
	対象(家賃算定件数)	987	987	931
投入コスト合計(千円)	13,451	12,051	10,092	11,792
対象1単位あたりのコスト(千円)	14	12	11	13
コスト評価(対前年比)	***	111.62% (↑)	112.64% (↑)	85.58% (↓)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H30目標	R01目標	R02目標	R03目標
			H30実績	R01実績	R02実績	
1 住宅使用料徴収率(現年度分)	収入額/調定額×100 近年でもっとも高い平成27年度の収納率99.17%を目標とする	%	99.17	99.17	99.17	99.17
			98.47	98.11	98.16	
2 入居稼働率	入居戸数/提供可能戸数×100	%	100	100	100	100
			100	100	100	

* 成果未達成時の理由 コロナ渦の影響により、入居者の収入が低下したため、あまり収納率が伸びなかった。

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/>	・市が実施するよう法令等で義務づけられている	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす	
効率性 【22】	<input type="checkbox"/>	・市が事業へ関与する必要が薄れている	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている	
	<input type="checkbox"/>	・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	
	<input type="checkbox"/>	・事業開始当初の目的から変化してきている	
	<input type="checkbox"/>	・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/>	・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	
	<input type="checkbox"/>	・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である	
	<input type="checkbox"/>	・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある	
	<input type="checkbox"/>	・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	
	<input type="checkbox"/>	・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	
公平性	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標を設定している	公平性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の目標値を達成した	
	<input type="checkbox"/>	・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない	b
	<input type="checkbox"/>	・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる	
	<input type="checkbox"/>	・法定事務であり成果は求めにくい	b
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している	
	<input type="checkbox"/>	・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している	b
	<input type="checkbox"/>	・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担がある ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる	負担率【 18.61 %】
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input type="checkbox"/> ・設定できない理由()	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	市営住宅の運営に関して、収納向上に努めた。		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小して継続
	<input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 終了
総合判定	A		
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	外部に委託している施設維持管理業務との連携により空室修繕を迅速かつ効率的に行うことで、市民の要望に応えている。今後も適正な運営を図る。		
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名)		
	<input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	維持管理センターと連携をとり退去の申請が出た場合は、空室確認、空室修繕及び募集等までを迅速に行い、住居に困窮されている方へ速やかに提供できるよう努めている。また、家賃の徴収率の向上に力を入れており、きめ細やかな対応に心がけ、現状のまま継続する。	評価責任者 福島 修生
-------------------	--	----------------

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	市営住宅施設管理業務		所管課 【2】	営繕課
			作成者(担当者)	徳永 信貴
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	④便利で快適な都市づくり		
	主要施策(節)	(3)住環境の整備・充実		
	施策区分	(3)公営住宅の整備		
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 0 千円】			
	<input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 公営住宅法、住宅地区改良法、玉名市営住宅条例、玉名市営単独住宅条例、住生活基本法ほか 】			
	<input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 住生活基本計画(全国計画)、熊本県住生活基本計画 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input checked="" type="checkbox"/> 施設の維持管理事業			
	<input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 】			款 8 項 6 目 1 細目 3

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	住宅に困窮する低所得者層へ住宅の供給をするにあたり、入居を希望する際の公平性・透明性の確保や入居者が安心して生活を送るための適正な管理運営が求められている。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	市営住宅入居者
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	安全で快適な住環境の確保を図る。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】
事務事業の具体的内容 【14】	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="flex: 1;"> <p>市営住宅施設の維持管理を円滑に行うため、建物本体の修繕及び附帯設備のメンテナンス並びに敷地内の整備を一括して外部に委託する。</p> </div> <div style="flex: 0.2; text-align: center; font-size: 2em;">⇒</div> <div style="flex: 1; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【15】 事務事業を構成する細事業(4)本</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 玉名市住生活基本計画・公営住宅等長寿命化計画策定業務 ② 市営住宅維持管理業務委託事業 ③ 施設賠償業務 </div> </div>

《事務事業実施に係るコスト》

		H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算	全体計画
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	4,701	0
		県支出金	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0
		受益者負担	72,117	71,024	77,048	79,428
		その他	0	0	0	0
		一般財源	0	0	5,850	0
	【16】 小 計		72,117	71,024	87,599	79,428
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)		0	0		
	職人 員 の 費	職員人工数	1.10	1.10	0.95	0.95
		職員の年間平均給与額(千円)	5,896	5,476	5,476	5,497
会計年度任用職員人工数				0.00	0.00	
会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)				1,950	1,973	
【17】 小 計		6,486	6,024	5,202	5,222	
合 計		78,603	77,048	92,801	84,650	

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H30実績	R01実績	R02実績	R03計画
① 玉名市住生活基本計画・公営住宅等長寿命化計画策定業務	市営住宅維持管理業務の外部委託を行う。	委託を行った件数	件	1	1	1	1
② 市営住宅維持管理業務委託事業	施設損害賠償保険を掛ける。	保険を掛けた団地数	団地	31	31	31	31
③ 施設賠償業務	所有者の特定及び撤去指導または撤去を行う。	撤去指導または撤去件数	件	0	0	0	0

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算
	対象(日常修繕件数)	560	644	690
投入コスト合計(千円)	78,603	77,048	92,801	84,650
対象1単位あたりのコスト(千円)	140	120	134	169
コスト評価(対前年比)	***	117.32% (↑)	88.96% (↓)	79.44% (↓)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H30目標	R01目標	R02目標	R03目標
			H30実績	R01実績	R02実績	
1 修繕対応率	修繕対応件数/修繕依頼件数×100	%	100	100	100	100
2			100	100	100	
* 成果未達成時の理由						

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/>	・市が実施するよう法令等で義務づけられている	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす	
効率性 【22】	<input type="checkbox"/>	・市が事業へ関与する必要が薄れている	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている	
有効性 【23】	<input type="checkbox"/>	・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	
公平性	<input type="checkbox"/>	・事業開始当初の目的から変化してきている	公平性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	
		<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input checked="" type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
		<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
		<input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる <input type="checkbox"/> ・負担率【 83.02 %】 <input type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input type="checkbox"/> ・設定できない理由()	公平性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	委託事業所との連絡をより密に行い、修繕箇所について入居負担か市側の負担かなどの判断に窮する事案に対し迅速に対応できた。		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	今まで入居者が、区役等で団地内を維持・清掃していたが、入居者の高齢化に伴い、行政で行って欲しいとの要望が増えてきており、委託事業所と情報共有し、入居者の要望に応じていく必要がある。		
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		
総合判定	A		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	31団地、1208戸の住宅の維持管理を維持管理センターに委託し、24時間入居者からの要望や相談等に迅速かつ丁寧に対応されている。入居者からの苦情等もない。現状のまま継続することで市民サービスの向上につながる。	評価責任者 福島 修生
----------------------	--	----------------

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	ユニバーサルデザイン建築物整備事業		所管課 【2】	営繕課
			作成者(担当者)	井上 正樹
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	④便利で快適な都市づくり		
	主要施策(節)	(3)住環境の整備・充実		
	施策区分			重点施策 【4】 <input type="checkbox"/> 該当
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 0 千円】 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 玉名市ユニバーサルデザイン建築物整備促進事業補助金交付要綱 】 <input type="checkbox"/> その他の計画【 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事业 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 】【 款 8 項 6 目 2 細目 2			

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	高齢者や障害者をはじめだれもが自立した日常生活、社会参加ができるユニバーサルデザインのまちづくりを進める必要がある。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	バリアフリー法第2条及び熊本県やさしい条例第28条に規定する民間の特別特定建築物のうち、バリアフリー法施行令第5条第2号(病院に限る。)、第9号及び第10号を除く建築物の改修をおこなう者。
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	不特定多数の者が利用する建物においてユニバーサルデザインの考え方に立った整備が進むことで、だれもが安全で快適に施設を利用することができる。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度								
	【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】								
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】								
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】								
事務事業の具体的内容 【14】	<table border="1"> <tr> <td>高齢者、障がい者等が円滑に利用できるユニバーサルデザインに配慮した建築物の整備を促進するため、高齢者、障がい者等に配慮した建築物の整備を行う民間事業者等に対し補助金を交付する。</td> <td>⇒ 【15】 事務事業を構成する細事業(2)本</td> </tr> <tr> <td></td> <td>① ユニバーサルデザイン建築物整備事業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>② ユニバーサルデザイン改修相談受付</td> </tr> <tr> <td></td> <td>③</td> </tr> </table>	高齢者、障がい者等が円滑に利用できるユニバーサルデザインに配慮した建築物の整備を促進するため、高齢者、障がい者等に配慮した建築物の整備を行う民間事業者等に対し補助金を交付する。	⇒ 【15】 事務事業を構成する細事業(2)本		① ユニバーサルデザイン建築物整備事業		② ユニバーサルデザイン改修相談受付		③
高齢者、障がい者等が円滑に利用できるユニバーサルデザインに配慮した建築物の整備を促進するため、高齢者、障がい者等に配慮した建築物の整備を行う民間事業者等に対し補助金を交付する。	⇒ 【15】 事務事業を構成する細事業(2)本								
	① ユニバーサルデザイン建築物整備事業								
	② ユニバーサルデザイン改修相談受付								
	③								

《事務事業実施に係るコスト》

		H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	0	0
		【16】 小計	0	0	0	0	0
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)		0	0			
	職人件費	職員人工数	0.15	0.03	0.02	0.02	
		職員の年間平均給与額(千円)	5,896	5,476	5,476	5,497	
		会計年度任用職員人工数			0.00	0.00	
会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)				1,950	1,973		
	【17】 小計	884	164	110	110		
合 計		884	164	110	110		

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H30実績	R01実績	R02実績	R03計画
① ユニバーサルデザイン建築物整備事業	誰もが利用しやすくなるような改修に要する費用の一部を、県の補助事業を活用し実施する。	補助金助成件数	件	0	0	0	0
② ユニバーサルデザイン改修相談受付	市民からユニバーサルデザイン改修についての相談対応を行う。	ユニバーサルデザイン改修相談件数	件	2	0	0	0
③							

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算	
	対象(ユニバーサルデザイン建築物整備事業)	0	0	0	0
投入コスト合計(千円)	884	164	110	110	
対象1単位あたりのコスト(千円)	0	0	0	0	
コスト評価(対前年比)	***	0.00%	(-)	0.00%	(-)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H30目標	R01目標	R02目標	R03目標
			H30実績	R01実績	R02実績	
1 補助金交付率	交付件数/申請件数	%	100	100	100	100
2			100	100	100	
* 成果未達成時の理由						

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/>	・市が実施するよう法令等で義務づけられている	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす	
効率性 【22】	<input type="checkbox"/>	・市が事業へ関与する必要が薄れている	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている	
有効性 【23】	<input type="checkbox"/>	・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	
公平性	<input type="checkbox"/>	・事業開始当初の目的から変化してきている	b
	<input type="checkbox"/>	・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/>	・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	
効率性 【22】	<input type="checkbox"/>	・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である	b
	<input type="checkbox"/>	・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある	
有効性 【23】	<input type="checkbox"/>	・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	
公平性	<input type="checkbox"/>	・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	b
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標を設定している	
妥当性 【21】	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の目標値を達成した	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない	
効率性 【22】	<input type="checkbox"/>	・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる	b
	<input type="checkbox"/>	・法定事務であり成果は求めにくい	
有効性 【23】	<input type="checkbox"/>	・法定事務であり成果は求めにくい	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している	
公平性	<input type="checkbox"/>	・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している	b
	<input type="checkbox"/>	・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/>	・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる	b
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(受益者負担は馴染まないため。)	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	広報等で事業普及するよう周知をおこなったが、基準チェックリストが厳しいため、実績0件となった。		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定	B
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	今後の事業周知については今まで同様続けるが、近年の実績を判断し、次年度当初予算で計上せず、申請状況に応じ、実施可能が見込める場合のみ補正にて対応する。		
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	事業周知を行ったが、採択の条件が厳しいため実績は0である。申請が出されて補助の対象となった場合は、補正で対応するよう財政課と協議済み。	評価責任者 福島 修生
----------------------	---	----------------

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	公営住宅ストック総合改善事業		所管課 【2】	営繕課		
			作成者(担当者)	徳永 信貴		
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	④便利で快適な都市づくり				重点 施策 【4】
	主要施策(節)	(3)住環境の整備・充実				
	施策区分	(3)公営住宅の整備				<input type="checkbox"/> 該当
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input checked="" type="checkbox"/> 新市建設計画【 H17~H32 年度予定 : 金額 836,052 千円】 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 公営住宅法、玉名市営住宅条例 】 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 玉名市公営住宅等長寿命化計画、玉名市公共施設長期整備計画 】 <input type="checkbox"/> 該当なし					
事業区分 【6】	<input type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input checked="" type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務					
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【			】	款	8
				項	6	
				目	2	
				細目	3	

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	更新期を迎えつつある老朽化した公営住宅ストックの効率的かつ円滑な更新を行い、公営住宅の需要に的確に対応することで、予防保全的管理、長寿命化に資する改善を推進する必要がある。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	公営住宅入居者
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	公営住宅の需要に的確に対応するとともに、入居者の安全性と住環境の向上を図る。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度~ 年度まで】	
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】	
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】	
事務事業の具体的内容 【14】	1 公営住宅等外壁改修事業 躯体補修により外壁の落下を防止し、建物の長寿命化を図るとともに、屋上防水の機能向上を図る。 2 公営住宅等給排水改修事業 老朽化した給排水管・ガス管の更新を行い、居住性の向上を図る。 3 公営住宅等電気設備改修事業 各戸の電気容量を増加し、居住性の向上を図る。 4 糠峯団地防鳥ネット取付事業 糠峯団地の1階及び2階のベランダ部分に防鳥ネットを設置し、居住性の向上を図る。 5 市営住宅火災報知器取替事業 更新期を向かえる火災報知機の取替えによって、引き続き機器の機能と性能を維持し、生命と財産を火災から守る。	【15】 事務事業を構成する細事業(16)本 ⇒ ① 公営住宅東原西団地外壁改修工事 ② 公営住宅住吉団地外壁改修工事 ③ 公営住宅岩井口西団地外壁改修工事

《事務事業実施に係るコスト》

		H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	43,885	16,900	23,160	44,100	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	59,502	23,000	30,100	47,800	0
		受益者負担	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	40,458	24,223	14,164	6,051	0
		【16】 小計	143,845	64,123	67,424	97,951	0
		[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	0	0			
	職人員件の費	職員人工数	2.05	1.25	1.15	1.15	
		職員の年間平均給与額(千円)	5,896	5,476	5,476	5,497	
会計年度任用職員人工数				0.00	0.00		
会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)				1,950	1,973		
	【17】 小計	12,087	6,845	6,297	6,322		
	合計	155,932	70,968	73,721	104,273		

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H30実績	R01実績	R02実績	R03計画
① 公営住宅東原西団地外壁改修工事	躯体補修により外壁の落下を防止し、建物の長寿命化を図るとともに、屋上の瓦を防水性の高い防災瓦に交換することで機能向上を図る。	改修戸数	戸	***	***	6	***
② 公営住宅住吉団地外壁改修工事	躯体補修により外壁の落下を防止し、建物の長寿命化を図るとともに、屋上の瓦を防水性の高い防災瓦に交換することで機能向上を図る。	改修戸数	戸	***	***	16	***
③ 公営住宅岩井口西団地外壁改修工事	躯体補修により外壁の落下を防止し、建物の長寿命化を図るとともに、屋上の瓦を防水性の高い防災瓦に交換することで機能向上を図る。	改修戸数	戸	***	***	9	9

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算
	対象(住宅戸数)	1208	1208	1208
投入コスト合計(千円)	155,932	70,968	73,721	104,273
対象1単位あたりのコスト(千円)	129	59	61	86
コスト評価(対前年比)	***	219.72% (↑)	96.27% (↓)	70.70% (↓)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H30目標	R01目標	R02目標	R03目標
			H30実績	R01実績	R02実績	
1 事業実施団地数	玉名市公営住宅等長寿命化計画の事業計画案に対する実績	棟	17	16	16	8
2			17	8	6	

* 成果未達成時の理由 長寿命化計画事業の見直しや費用の増加に伴う計画変更のため。

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input checked="" type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
効率性 【22】	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input checked="" type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い c
公平性	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(受益者負担がなじまない。) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	継続して適切な管理に努めた。			
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定 C
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	入居者の安全性と住環境向上を目的とし、計画に基づき更新期を迎えつつある老朽化した公営住宅ストックの効率的かつ円滑な更新を行い、公営住宅の需要に的確に対応するため現状のまま継続する。			
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	令和2年度により実態に則した計画とすために見直した、長寿命化計画に基づき、老朽化した公営住宅を効率的かつ効果的に更新することで、入居者の安全性の確保及び住環境の向上に努める。	評価責任者 福島 修生
----------------------	---	----------------

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称【1】	戸建木造住宅耐震対策支援事業		所管課【2】	営繕課		
			作成者(担当者)	井上 正樹		
総合計画での位置付け【3】	基本目標(章)	④便利で快適な都市づくり			重点施策【4】	
	主要施策(節)	(3)住環境の整備・充実				
	施策区分				<input type="checkbox"/> 該当	
実施の根拠(複数回答可)【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 0 千円】					
	<input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 建築物の耐震改修の促進に関する法律、玉名市戸建て木造住宅耐震改修等事業補助金交付要綱 】					
	<input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 玉名市建築物耐震改修促進計画 】 <input type="checkbox"/> 該当なし					
事業区分【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業					
	<input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務					
会計区分【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 〕		款 8	項 6	目 2	細目 5

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか)【8】	平成28年4月14、16日に発生した熊本地震では玉名市においても多くの建築物被害が報告された。地震による建築物の被害から市民の生命、身体及び財産を保護するため、旧耐震基準(昭和56年5月31日以前)の戸建木造住宅の耐震化を促進する必要がある。
対象(誰、何に対して、受益者等)【9】	旧耐震基準の戸建て木造住宅の所有者
意図(どのような状態にしたいか)【10】	市民に対し耐震化の啓発を行うとともに、耐震性のない旧耐震基準の戸建木造住宅の所有者を対象に補助を行うことで耐震化を推進し、耐震性のない住宅の解消を図る。

《事務事業の概要》

事業期間【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H28 年度から】 【 年度～ 年度まで】	
事業主体【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 〕	
実施方法【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 〕	
事務事業の具体的な内容【14】	<p>・広報紙等での耐震化の啓発、情報発信を行う。 ・窓口にて耐震診断・改修の補助等の支援制度などについての相談対応を行う。 ・耐震診断(R3年度より追加)、耐震改修設計、耐震改修工事、建替え工事、耐震シェルター工事に要した費用の補助を行う。 ・固定資産税納付書に耐震化補助に関するチラシの同封を行う。</p>	【15】 事務事業を構成する細事業(3)本
		① 戸建木造住宅耐震改修等事業 ② 戸建木造住宅耐震改修等事業(R2線) ③ 耐震化相談受付

《事務事業実施に係るコスト》

		H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費(千円)	国庫支出金	370	1,604	4,257	12,109	0
		県支出金	1,240	1,623	1,732	12,606	0
		起債	0	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	1	236	2,372	251	0
	【16】 小計	1,611	3,463	8,361	24,966	0	
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)						
	職人件費	職員人工数	0.55	0.26	0.36	0.36	
		職員の年間平均給与額(千円)	5,896	5,476	5,476	5,497	
		会計年度任用職員人工数			0.00	0.00	
会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)				1,950	1,973		
【17】 小計	3,243	1,424	1,971	1,979			
合計	4,854	4,887	10,332	26,945			

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H30実績	R01実績	R02実績	R03計画
① 戸建木造住宅耐震改修等事業	玉名市建築物耐震改修促進計画に基づき、住宅の耐震化に要する費用の一部を、国の補助事業を活用し実施する。	補助金助成件数	件	3	5	8	49
② 戸建木造住宅耐震改修等事業 (R2線)	玉名市建築物耐震改修促進計画に基づき、住宅の耐震化に要する費用の一部を、国の補助事業を活用し実施する。	補助金助成件数	件	***	***	***	1
③ 耐震化相談受付	市民からの住宅の耐震化についての相談対応を行う。	住宅耐震相談件数	件	30	18	43	50

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算
	対象(補助金助成件数)	3	5	8
投入コスト合計(千円)	4,854	4,887	10,332	26,945
対象1単位あたりのコスト(千円)	1,618	977	1,292	550
コスト評価(対前年比)	***	165.54% (↑)	75.68% (↓)	234.86% (↑)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H30目標	R01目標	R02目標	R03目標
			H30実績	R01実績	R02実績	
1 補助金交付率	交付件数/申請件数	%	100	100	100	100
2			100	100	100	
* 成果未達成時の理由						

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/>	・市が実施するよう法令等で義務づけられている	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす	
効率性 【22】	<input type="checkbox"/>	・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標を設定している	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の目標値を達成した	
公平性	<input type="checkbox"/>	・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない	b
	<input checked="" type="checkbox"/>	・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる	
		・法定事務であり成果は求めにくい	b
		・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している	
		・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している	b
		・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	
		・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる <input type="checkbox"/> ・負担率【 0.00 %】	【24】
		・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(受益者負担は馴染まないため。)	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	広報掲載等を実施し普及啓発に努めたが、コロナ禍により産業祭等イベント会場での住宅・耐震相談会が開催できなかった。		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小して継続
	<input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 終了
総合判定	B		
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	住民の耐震化への関心は薄れつつあるが、地震が発生した際に市民の生命を守るためには重要な事業である。今後も普及啓発に努めていき、耐震化率の向上に努める。今後の大地震に備え、市民が安心して住み続けられる住まいの確保を図っていく。		
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名)		
	<input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	昨年度は、一昨年に比べ助成件数が1.6倍に増えた。ただし、耐震化の乏しい住宅がかなりあるため、安全安心のためにこの事業の周知を図り、耐震化の向上に努める。現状のまま継続する。	評価責任者 福島 修生
----------------------	---	----------------